

医療機関ご担当先生  
 病病・病診連携ご担当者様

### PET および PET—CT 検査に必要な書式に関して

いつも貴重な症例をご紹介いただきありがとうございます。平成 22 年度からの保険診療改訂により PET および PET-CT に関しまして、再発疑いの場合を除き、疑い病名で PET 検査を受けていただく事ができません。

ご紹介状・病名チェック表の診断名・傷病名の欄、もしくは紹介目的などの主たる欄に御記載いただく内容には、かならず悪性腫瘍の確定病名をご記載下さいませよう、よろしく願いいたします。

### PET-CT をお受けできない例

- |      |    |                      |                |    |
|------|----|----------------------|----------------|----|
| ① 診断 | #1 | 高 CA19-9 血症，高 CEA 血症 | マーカーのみの場合      | →× |
| ② 診断 | #1 | 悪性リンパ腫疑い             | 疑い病名が          | →× |
| ③ 診断 | #1 | 不明熱 熱源検索             | 有用ですが確実に適応外です。 | →× |
| ④ 診断 | #1 | 原発不明癌の疑い             | 疑い病名が          | →× |
| ⑤ 診断 | #1 | 肺癌疑い                 | 疑い病名が          | →× |
| ⑥ 診断 | #1 | 早期胃癌                 | 早期胃癌のみは悪性でも適応外 | →× |
| ⑥ 診断 | #1 | 腫瘍形成性膵炎              | 適応外病名です        | →× |

### PET-CT をお受けできる例

- |      |    |                            |                                                                                            |    |
|------|----|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ① 診断 | #1 | 原発不明癌                      | 【経過】高 CA19-9 血症あり。腹部病変が疑われ、強い蓋然性で原発不明癌が示唆される。CT 上も潜在病変否定できない。                              | →○ |
| ② 診断 | #1 | 肺癌                         | 【経過】肺上葉に Spicula を伴う 15mm 大の不整形結節あり、形態から腺癌が示唆される。病理診断は未確定。                                 | →○ |
| ③ 診断 | #1 | 〇〇肉腫，神経芽腫，多発性骨髄腫，膵癌などの悪性病名 |                                                                                            | →○ |
| ④ 診断 | #1 | 悪性リンパ腫                     | 【経過】10 月より続く不明熱あり，脳造影 MRI にて髄膜の造影増強効果あり。髄膜炎も鑑別に挙がるが臨床的に典型では無く，悪性リンパ腫の浸潤もしくは悪性腫瘍髄膜播種が示唆される。 | →○ |
| ⑤ 診断 | #1 | 肺癌再発の疑い                    | 【経過】H18 年肺癌（右下葉）切除後、マーカー高値                                                                 | →○ |

病理診断による確定診断が得られていなくとも、臨床上、高い蓋然性を持って悪性腫瘍が疑われ、悪性腫瘍と診断されれば保険適用となるとの厚生労働局の疑義解釈です。

先生方にはご面倒をおかけ致しますが、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。